

皆さんへ、

コロナ疲れが出ていないことを祈ります。ワクチンが始まり、昨年とは様相が変わりましたが、まだまだコロナ禍生活から脱出したとは言えないようです。それでも、継続は力と思い、いくつかお伝えします。来年こそは穏やかな年になることを祈っています。

<由紀子の2021年>

今年もコロナに振り回される1年となりました。授業は基本オンラインで、大学には週1回行く程度、後は机の前という生活でした。旅行は、お正月は感染者がいない仙台の秋保温泉と松島に行きました。今年は雪の多い年だったそうで、雪景色がとてもきれいでした。3月に渡米しましたが、AAALもAAS学会もオンラインになり出かけることはありませんでした。ただ、日本から参加すると、時差の関係で夜中に起きていなければならないので、北米にいてよかったとは思いますが。六月には一味が帰国したので、苦境に苦しむホテルがクラウドファンディングで売った宿泊券を使い、京都や鞆の浦



に行きました。
この時点では、
まだどこも閑散
としていた
が、逆に京都は
古都らしい落ち



着きがありました。一味が北米に戻る前には、淡路島、大歩危小歩危、金毘羅神宮、高松、小豆島、姫路城をドライブで回りました。八月もAILA、EJASのオンライン学会で発表をし、その後は普通の生活に戻りましたが、九月以降はワクチン接種が進んだおかげで国内の感染者は減り、いろいろな制限が徐々に解かれていきました。そこで、十一月に高橋恵利子さんと軽井沢に、その後、一人旅で紅葉の京都に行きました。感染者数が減っていたこともあり、人出は多かったです。紅葉はとてもきれいでしたし、ずっとどんより曇ったみんなの心が少し明るくなっていったように思います。十一月十二月は国内学会の時期で、こちらもオンラインで参加はしましたが、オンラインでは積極的に参加したいという気持ちになれないので、早く対面で開催されるようになることを祈っています。



ずっと家にこもっていると気が滅入るので、今年は美術館や博物館によく行きました。日本の美術館はいつも混んでいるのですが、コロナ禍で人数制限をしていたため、人の頭でブロックされずに作品を見られたのがとても良かったです。

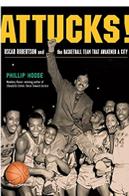
というわけで、ジブリ美術館、バンクシーの特別展、チームラボ、聖徳太子特別展、北斎・歌麿特別展など、なかなか時間をかけて見られないものをゆっくり見る事ができました。

もう一つは始めたのは断捨離です。2023年三月には退職しようと思っているので、いらぬものを整理し始めました。狭い宿舎でも14年も住んでいると、やはり物はたまるので、季節ごとにいらぬものを少しずつ整理しています。それから、家探しもはじめました。始めは神奈川県を考えていましたが、坂が多すぎて、その分景色はきれいだけれど不便さを感じたので、今は平地の多い千葉県で探しています。最終的にどこになるかはまだまだわかりませんが、早く決まればいいと思っています。

<一味の2021年>

30年ぶりに家に動物がいない一年を過ごしました。水、餌やり、散歩、トイレ掃除などが日々の生活の中から消えました。正月は宮城県の秋保温泉に行きました。米国に戻ってからは、今年のテーマになった没入型VRの語学学習での応用について模索を始めました。2月から4月までは笹森さん（広島被爆）と全米六校でオンライン証言活動を行いました。笹森さん（89歳）も一人でZoomを操り奮闘してくれました。素晴らしいエネルギーでした。3月には震災10周年ということもあり「きょうを守る」の上映がいくつかありました。インドネシア語とチェコ語の字幕が追加され、全部で八つの言語の字幕がつけました。4月には、昨年植えた新しい桜の木が初めて花を咲かせました。この木はチビタンと入れ替わりなので、チビタン桜と命名しました。5月はJOCでボランティアをする気満々で帰国したのですが、残念ながら仕事は流れてしまいました。結果的に三ヶ月間日本に在ることになり、久しぶりの長期滞在となりました。由紀子と国内旅行を楽しみました。（奈良—宇治—京都と淡路島—金毘羅宮—小豆島—姫路城）5月にはかねてより執筆中だった「めしあがれ」がついに出版されました。よろしかったら、お手に取ってみてください。今年の落語・紙切り・小噺の活動はオンラインながら、インドネシアから始まり、日本、ヨーロッパを中心に行いました。国際交流基金ロンドンが主催してくれた活動がきっかけでできた国際小噺合同発表会（KKGH）という日本語教員のグループが積極的に日本語学習者に小噺を教えています。とても活気がある活動になっています。さん喬師匠の「死神」「幾代餅」、左龍師匠の「勘定板」などへの字幕付作業をしました。楽しかったです。11月のサンクスギビングにはミドルベリー時代の同僚（というか、娘達）が二週続けて訪れてくれて、賑やかな週末でした。12月は日本に戻る予定にしていますが、絶妙のタイミングでオミクロンが発生し、ビミョーな感じです。

おまけ



昨年2月に偶然、ラジオで聞いたのがきっかけとなり、翻訳を始めた Attucks! という本の翻訳作業が終了しました。現在は出版社を探しているところです。1960年代にNBAで活躍したオスカー・ロバートソン氏がインディアナポリスの高校で活躍した時の話です。バスケットボールというよりは人権の話なので、興味深い内容だと思います。原稿でもいいから読んでみたいという方は連絡してください。

ミータロー&チビタン：あたい達はこっちで仲良くやっています。

来年が穏やかな年になることを願って...

一味 & 由紀子

2022年こそ、穏やかな年になりますように。

